

七五三誕生会

今日は11月15日、七五三の日です。10・11月生まれの誕生会と七五三のお祝いの会を合わせて行いました。

誕生会の主役は、すみれ組渡邊花穂さん、茂木蒼和さん、ちゅうりっぷ組渡邊珀翔さん、和田紗知子さんの4名です。



会場の遊戯室には、子どもたちが一生懸命作った千歳あめの袋も飾られています。

この会の司会は、上原丈太郎さん、羽田有伽さん、土屋幸生さんの3人です。

花井紗稀さん、齋藤奏汰さんの初めの言葉で会が始まりました



まずは、誕生日のお友だちへの恒例、インタビューです。インタビュアーは、加藤心那さん、嶋原歩叶さんです。



「イチゴが好きです」
「大きくなったら、走る選手になりたい」



「リンゴジュースが好きです」
「好きな人は、歩叶君です」



「好きな動物は、ライオンです」
「好きなキャラクターはポケモンです」



「好きな色は、ピンクです」
「ぶどうジュースが、好きです」





今日のお楽しみは、齋藤奏汰さんを講師に迎えて“キラメイジャー”のダンスです。
奏汰さんのキレッキレのダンスを、みなさんにもお見せしたいです。



ここからは、七五三のお祝い会です

一生懸命に作った千歳あめの袋の紹介です。どんなところを頑張ったでしょうか。



水戸条安さん

「持つところが難しかったです」

花井紗稀さん

「アイドルの目を描くところが難しかったです」

福田彩葉さん

「花を細かく切るところが難しかったです」



三浦えまさん

「袋を作るのを頑張りました」

加藤希華さん

「ハローキティの場所が難しかったです」

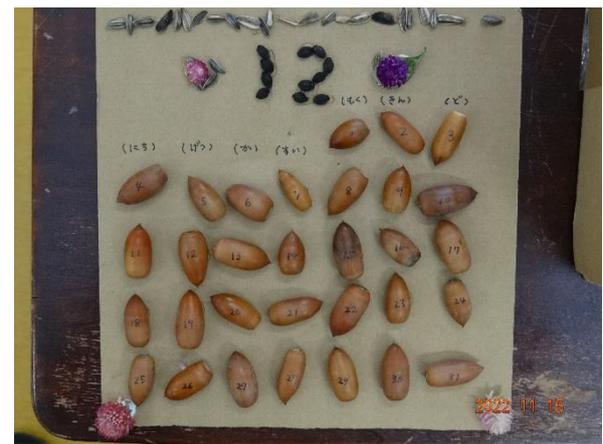
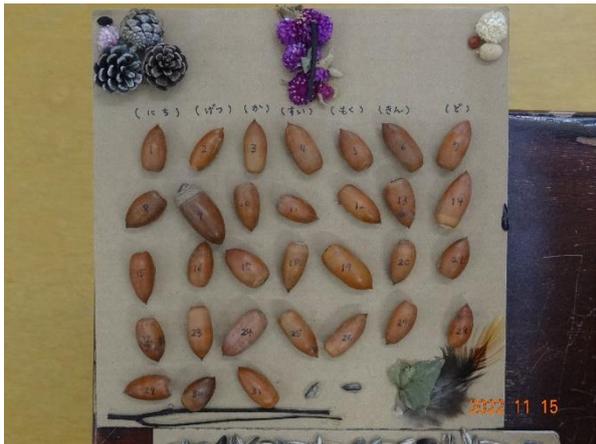
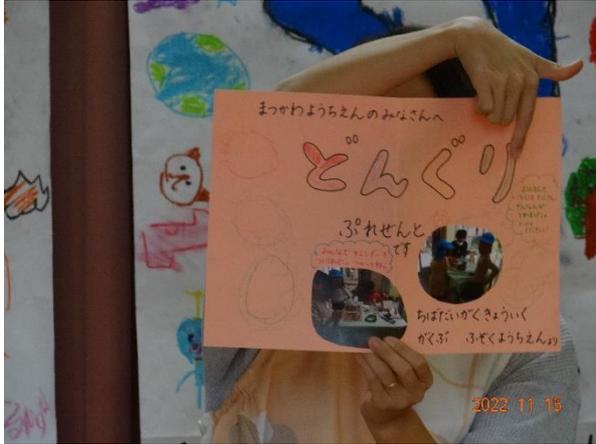
鈴木杏佳さん

「飾りをつけるのを頑張りました」



一條湊斗さん、阿部未来さんの終わりの言葉で、会は閉じました。

と、ここで詩織先生からお知らせがありました。千葉大学附属幼稚園から大きなどんぐりや松ぼっくり、銀杏が届いたといううれしいお知らせでした。



届いた中には、千葉大学附属幼稚園の子どもたちが書いたお手紙やどんぐりで作ったカレンダーも入っていました。どんぐりは、福島では見られない大きな大きなどんぐりです。(千葉大学附属幼稚園とは、東日本大震災後、福島県のどんぐりは子どもたちの遊ぶ材料としては不向きであろうからと、たくさんのどんぐりを送ってくださったのがきっかけで、今も交流が続いています。)



送ってきたカレンダーを真似て、どんぐりでカレンダーを作っています。

すみれ組さんは、どんぐりで作ったものを送ってあげようと考えています。

(先生方は、zoomなどで千葉大学附属幼稚園の子どもたちと交流できたらいいと考えています)